

地域の経済動向（令和4年7～9月期）

《十勝地域》

1 経済動向に係る企業等の声（7～9月期）

【建設業】

- ・従業員の高齢化や技術者の不足が懸念される。当社では今年度から外国人の採用に取り組んでいる。（土木工事業）

【製造業】

- ・小麦等仕入価格上昇を受けて値上げした結果、来店客数が減少。（パン・菓子製造業）
- ・第7波の中、製造・販売スタッフに感染が広がり、業務継続のマネジメントが非常に厳しい状況。（パン・菓子製造業）
- ・製造現場及び販売スタッフに感染が広がり、体調不良者や出勤抑制対象者が続出。シフトの組替など人繰りのマネジメントがこれまで経験したことの無い厳しさとなっている。（菓子製造業）
- ・原料（生乳）の高騰に対しては大手スーパーも理解を示し、値上げを容認してくれたが、エネルギーコストや輸送コストを製品価格に転嫁することについては、首を縦に振ってくれないのが実情。（乳製品製造業）
- ・資源高や国際情勢に伴う物流混乱の影響もあり、機械の納品が1年以上先となっている（食品製造業）
- ・円安による資材やエネルギー価格高騰で、取引先の商品が値上げされ売上が落ちた場合、自社への原料発注減を懸念している。（食品製造業）
- ・道内・国内需要のほか、海外へ製品輸出を促進させるため、生産管理手法(4S)の取組を実施し、事業所としての格付け向上に取り組んでいる。（機械製造業）
- ・社員募集はハローワークの他、ネットメディアも活用している。また、製造部門の人手不足においては、協力会社(下請・派遣)を活用し人材を確保。（食品製造業）

【卸売・小売業】

- ・自動車業界は著しく変化しており、時代に合わせた設備投資が必要。補助金等はなく、当社は自力で設備投資してきたが、経営は厳しい状態。加えて人材不足が課題。（自動車小売業）
- ・直近の売上はほぼ前年並みだが、2019年と比べると観光客が利用する店舗は最大4割減。地元客が利用する店舗は1-2割減。（パン製造小売業）
- ・小麦仕入れ価格は前年15%増、食用油は50%増となり価格転嫁した結果、来客数は減少。（パン製造小売業）

【運輸業】

- ・運転手不足と軽油高騰が続く中、危機感を強く持っている。（一般貨物自動車運送業）
- ・社員の高齢化が進み、募集をしても応募がほとんど無い。事業承継に懸念がある。（一般貨物自動車運送業）

【サービス業】

- ・コロナの影響により出勤できなくなるような状況が懸念されており、コロナ禍の対応として、どの職員も料飲・宿泊など旅館業務が一通り出来るよう、マルチスタッフ、マルチジョブ体制を組んでいる。（宿泊業）
- ・LPガスについて、円安の影響もあり仕入れ価格が上がってきているものの、毎月ガス料金の改定をしているので、価格転嫁はできている一方で、配管材料等については資材価格が高騰し、こちらは販売事業者が負担しており利益減少要因となっている。（管内ガス事業者）
- ・調理師不足などにより、予約数を通常の7～8割に抑え、ランチ提供を中止して対応している。募集サイトなどに求人を出しているが、問い合わせすらない。（宿泊業）





【関係機関・団体】

- ・全国旅行支援の中止によって、団体・個人共に道外からのツアーのキャンセルが多く発生するとともに、感染拡大に伴い新規予約も低調であり、現在の稼働率は5～6割程度と低迷している。（観光協会）
- ・「ほっかいどう認証店応援クーポン」については、飲食店からも感謝の声が上がっており、参加店舗は積極的にPRしている。（協議会）









2 道内金融機関から見た地域景況感 (7~9月期)

① 非常に好調 	② 好調 	③ やや好調 	④ 普通 	⑤ やや低調 	⑥ 低調 	⑦ 非常に低調 
---	--	--	--	--	--	---

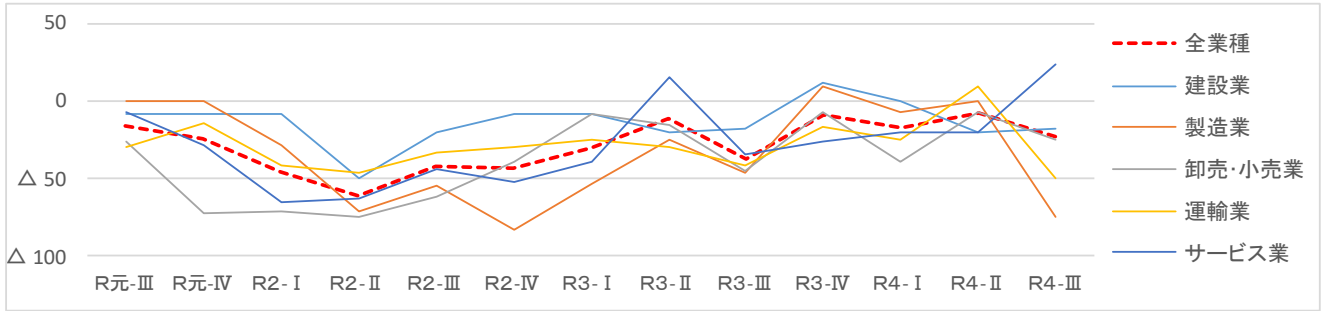
【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
帯広信用金庫				<p>当金庫が実施した今期の地域企業景気動向調査では、地域企業の「業況判断DI」は前期実績および今期の見通しからの「悪い超」幅を拡大し、$\Delta 27$となった。「売上額」、「収益」のいずれも前期比減少した。</p> <p>生産動向については、製造業の「業況判断」が前期比 20 ポイント悪化し、$\Delta 27$となった。消費動向についても、小売業の「業況判断」が管内における新型コロナウイルス「第7波」の影響や物価高騰等の影響を受け、「業況判断」が「悪い超」幅を拡大し、$\Delta 39$となった。</p>		<p>次期の「業況判断」は$\Delta 31$と今期から 4 ポイント悪化。「売上額」、「収益」も減少する見通しであり、「仕入・材料価格」についても依然として高止まりする見通し。</p>

【景況感の推移】

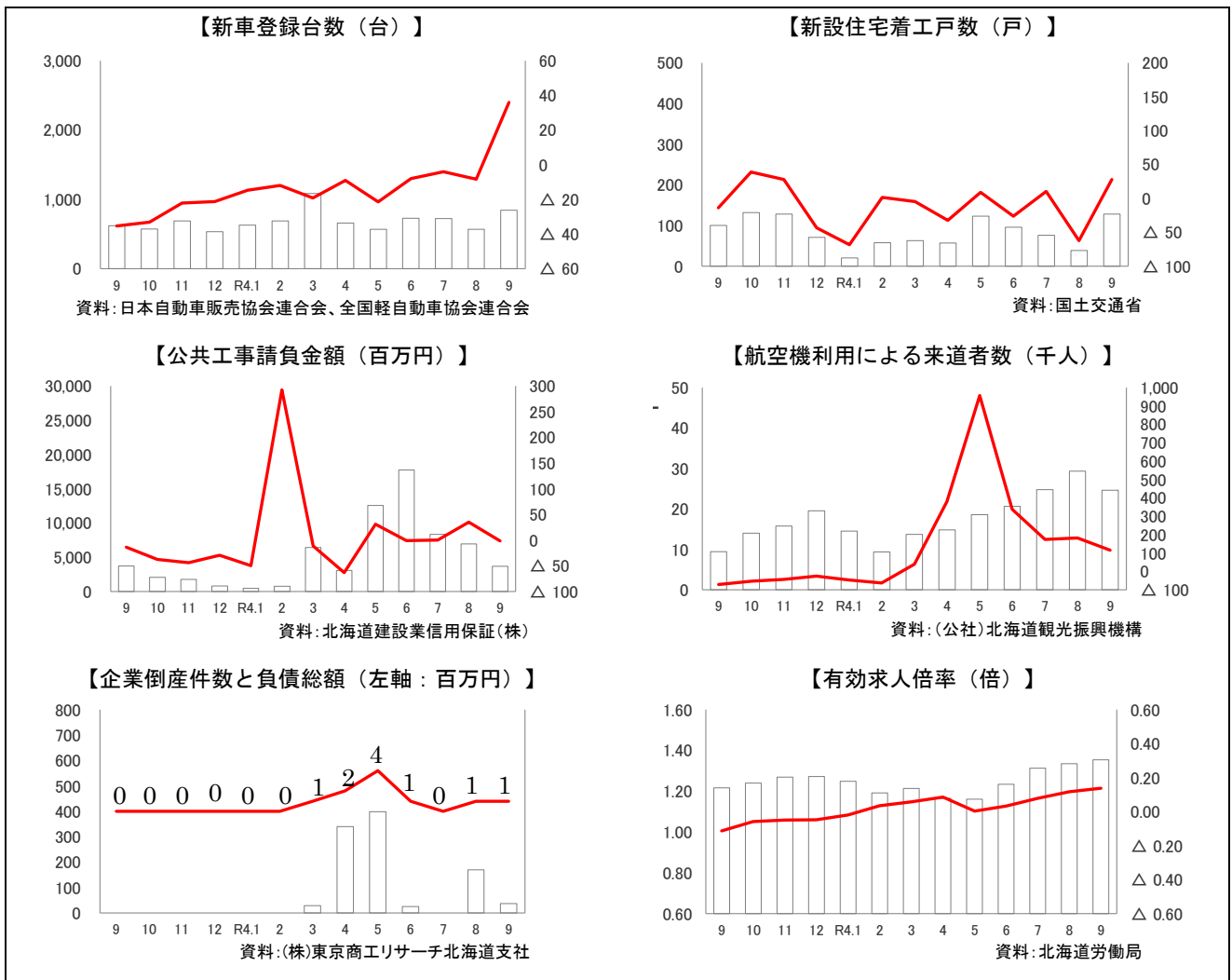
	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III
帯広信用金庫								

3 業種別の業況感BSI（企業経営者意識調査）



	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III
全業種	△ 16	△ 25	△ 46	△ 62	△ 42	△ 44	△ 30	△ 11	△ 38	△ 9	△ 17	△ 8	△ 24
建設業	△ 9	△ 9	△ 9	△ 50	△ 20	△ 9	△ 9	△ 20	△ 18	11	0	△ 20	△ 18
製造業	0	0	△ 29	△ 71	△ 55	△ 83	△ 54	△ 25	△ 46	9	△ 8	0	△ 75
卸売・小売業	△ 27	△ 73	△ 71	△ 75	△ 62	△ 39	△ 9	△ 16	△ 45	△ 8	△ 40	△ 8	△ 25
運輸業	△ 30	△ 15	△ 42	△ 46	△ 34	△ 30	△ 25	△ 30	△ 42	△ 17	△ 25	9	△ 50
サービス業	△ 8	△ 29	△ 65	△ 63	△ 44	△ 53	△ 40	15	△ 35	△ 26	△ 20	△ 20	23

4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)